
令和4年度第1回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：令和4年8月26日(金) 14時～15時35分

開催場所：彦根市役所 5階 会議室 5-1

【会議の内容】

1 開会

(1) あいさつ

市民環境部長からあいさつ

(2) 委員委嘱

8名に彦根市環境審議会委員を委嘱

(3) 会長・副会長の選出

会長に滋賀県立大学の上河原委員、副会長に滋賀大学の松下委員を選出

2 議事

(1) 第3期彦根市環境基本計画および地域行動計画の取組状況について

➤ (事務局説明)

・資料1および資料2に基づき、進捗状況について報告。

➤ (意見等)

・ホタルの確認場所数について、ホタルは水環境の指標であるため、場所の確認だけでなく、生息環境を取り戻す取組が必要であると考えます。

→水辺の環境変化の解決について、県等とも連携する必要があるため、今後検討していきます。

・環境こだわり農業実施面積について、環境保全型農業直接支払交付金は補助金のようなものが出ているのですか。それが取組面積の増加に繋がっていないのですか。

→環境保全型農業直接支払交付金は、取組に応じて単価が設定されており、面積に応じて交付金が支払われるものとなっています。

・彦根城内堀と中堀の水質について、内堀の水質が悪化しており、中堀の水質が良くなっているように見えるが、理由はあるのですか。

→令和2年度から3年度の変化の要因分析まではできていませんが、今後も測定を続ける中で傾向などが分かれば審議会にも報告させていただきます。

-
- ・市民1人1日当たりのごみ等発生量は達成でよいのですか。
→指標は、基本的には目標値を上回ることによって達成となるものが多いですが、これについては、ごみ減量が目標であり、目標値を下回ることによって達成となるものです。

 - ・リサイクル率について、清掃センターでの回収量から把握することですが、彦根市全体で考えるのであれば、スーパー等での回収量を含めてもよいのではないですか。
→古紙の店舗回収量については、全てを把握できていないため、必ずしも正確ではありません。また、清掃センターでの回収量は市民が持ち込むため、彦根市内の回収量と言えますが、店舗回収は市内の店舗にも市外の方が持ち込まれるもあり、必ずしも店舗回収の量が彦根市内の量とは言い切れないため、実績に含めるのは難しいと考えています。ただ、ここ数年で店舗回収の量が増えているため、店舗回収量についても参考にお示しするなどを検討しています。

 - ・学校給食の地産地消率について、令和2年度の実績よりも令和3年度の目標値が落ちるのはなぜですか。前年度の実績に対して翌年度の目標を立てるということではないということですか。
→計画では最終年度の令和12年度の目標値のみを掲載しており、指標によって様々ですが、令和12年度の目標を維持するため目標値が毎年変わらないものもあれば、低いところから高い目標に対して徐々に上がっていくように設定したものもあります。この指標は、令和3年度は27%を目指し、結果41.3%であったと担当課から報告を受けたものです。

 - ・燃えるごみの量が大きく減っていることについて、清掃センターの3炉中2炉が止まったことについての現状と、稼働しなかったことで市民のごみ排出が減ったことについての見解について教えてください。
→昨年12月末に3炉中2炉が停止しましたが、今年度からは3炉とも稼働しています。2炉停止した際、外部搬出が必要となり、搬出にはコストもかかるため、至急ごみを削減する必要がありました。燃やすごみには生ごみが多いため、水キリや食ベキリのお願いや、汚れた容器包装プラスチックは燃えるごみではなく、洗ってリサイクル可能なプラスチックとして出していただく呼びかけを行い、1~3月ごろは前年と比べて5%程度の減量があり、呼びかけにより大きな効果があったと考えています。

 - ・環境こだわり農業実施面積について、肥料価格の高騰は一時的なものであっても、高齢化等により徐々に取組面積が減っていくことについて、今後の展開をおしえてください。
→目標値の設定としては、最終年度まで700haを維持する計画でしたが、令和3年

度実績でそれを下回ることとなりました。今後の目標設定の考え方等について、担当課と情報共有いたします。

・外来種の駆除数（外来魚）について、目標値に対して実績値が上回っていることを良いと見なすか評価の仕方が難しいですが、外来魚が増えてしまっているのであれば駆除数も増えることになるため、駆除と努力の関係について整理する必要があります。

→ご指摘のとおり、指標「有害鳥獣等駆除頭数」についても増加傾向であり、活動量も多く業務としての割合も高いですが、高い評価につながるというのではなく、それだけ外来生物等が広がってしまっている可能性があることは認識しています。

・ホテルの確認場所数について、新しい取組として SNS 等の活用がありますが、新しく確認できた場所があるなど、SNS を活用した取組をピックアップして強調するなどしてもよいと思われます。

→ホテル地図について、これまで目撃情報が無かった町も SNS の活用により確認情報の提供があったので、新たに確認できた場所や数の情報についても公開できるよう調整します。

・管理不全な空き家等の是正率について、「現行計画の見直しにより是正率を維持する」とあるが、見直しの内容を教えてください。

→具体的な方策について、担当課に確認し、「今後の取組方針」に記載することで回答します。

・オオバナミズキンバイが小さな面積ではあるが増えてきていることについて、場所としては神上沼の1箇所のみですか。

→オオバナミズキンバイの生育場所について、滋賀県から情報提供いただいております。石寺町付近の湖岸沿なども情報があるため、注意が必要であると考えています。

・広報誌・HP による環境情報提供数について、HP 等の活用については良いと思われませんが、一方で高齢者の方々などのネット情報にアクセスできない人もおられることから、情報を広報誌からしか得られない方への配慮も必要と考えます。

→広報誌の発行回数が減ったことで目標達成は難しくなりましたが、広報誌を切り捨てるということではなく、HP 等も上手く活用していきます。

(2) 指標の目標値の見直しについて

➤ (事務局説明)

・資料3に基づき、目標値の見直しについて説明。

➤ (意見等)

- ・国や県の取組がある中、市での取組はなかなか難しいとは思われますが、新たな目標を掲げるのであれば、環境省の補助事業なども活用して、市独自の取組も検討していただきたいと思います。

→環境省からの補助事業等の情報は得ていますが、市だけでは難しいと思われることから、事業者や市民団体、大学等とも連携した取組を検討していきます。

(3) その他事務連絡等

➤ (事務局説明)

- ・第2回の開催については、感染症の状況等を考慮し、開催の可否や開催の方法等について、会長と事務局で相談し決定することを説明。

3 閉会